

10月1日に発行され、サブタイトルは、東日本大震災 医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録とあるとおり、地震発生の午後2時46分から4分後、災害対策本部を立ち上げてから、分きざみの「記録」をまとめたもの。

海岸から4.5キロ離れた地に、免震構造で建て替えた建物だったため、石巻市全市の傷病者を、かつぎこまれた遺体を受け入れ、懸命に働いた人々の記録です。

宮城県の災害医療コーディネータ、プロ中のプロ多数を擁した病院であっても苦闘の連続であったことがわかります。巨大津波が襲う／ここは野戦病院か避難所か／低体温症／水・電気の復旧に奔走／底をつく患者300人職員700人の食料／全避難所を緊急選別診断／避難所に蔓延する肺炎／妊産婦・胎児の力強い生命力／家族はどこ、殺気立つ安否確認室／私たちが被災者なのに／9日ぶりの生還、奇跡／大災害を乗り越えて…

小学館発行。JPA 外に、わかりやすい語り口。学ぶべきことが詰まった1冊です。